

# 令和7年度(8年産)ビール大麦等生育概況⑤

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

調査日：令和8(2026)年4月6日

(調査基準日4月5日)

○ニューサチホゴールデン(11月5日播種)の出穂期は、今後気温が平年並に推移した場合、平年より7日早いと予測される。

今後、気温が高くなる予報のため、出穂はさらに早まる可能性が高い。

○赤かび病防除は適期を逃さずに実施する。

○収穫に向けた湿害対策として引き続きほ場の排水対策を行う。

## 1. 有効積算気温によるニューサチホゴールデンの出穂期予測

本年産の農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールデンの出穂期(4月6日現在、令和7年11月5日播種)は、今後気温が平年並に推移した場合は平年より7日早い4月11日(平年値4月18日)、平年+1℃の場合は4月10日(平年-8日)、平年+2℃の場合は4月10日(平年-8日)、平年-1℃の場合は4月12日(平年-6日)と予測される。

場所	茎立期	出穂期予測				出穂期
	本年	平年+2℃	平年+1℃	平年並	平年-1℃	平年値
農研センター	3/5	4/10	4/10	4/11	4/12	4/18

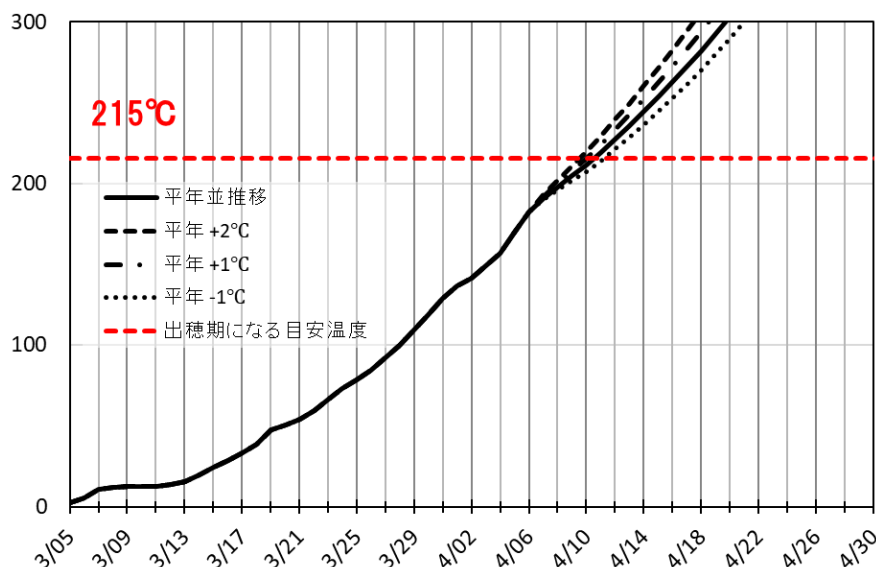


図 ニューサチホゴールデンの出穂期予測(農研センター本場)

※有効積算温度=Σ(日平均気温-有効下限温度(4.6℃))

※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。

※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールデンにおける茎立期から出穂期までの積算温度で算出した。

## 2. 前回調査から今回調査までの気象概況（3月20日～4月5日）

宇都宮市の平均気温は平年+2.5℃の11.8℃であった。降水量は116mm（平年比193.0%）と平年より多く、日照時間は平年より少なかった（平年比73.5%）。

## 3. 4月6日の生育概況 農研センター本場(宇都宮市)

農研センター本場のニューサチホゴールド(11月5日播種区)の幼穂長は524.0mm（平年比194%）、幼穂長64.1mm（平年比139%）であった。

## 4. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和8年4月2日発表より引用）

●天候:天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

- ・平均気温：高い確率が80%
- ・降水量：多い確率が60%
- ・日照時間：少ない確率が50%

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 04/04～05/03	10 10 80
		1週目 04/04～04/10	10 10 80
		2週目 04/11～04/17	10 30 60
		3～4週目 04/18～05/01	10 30 60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 04/04～05/03	10 30 60
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 04/04～05/03	50 30 20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## 5. 今後の管理

### 1) 赤かび病防除

二条大麦の赤かび病の防除適期は、**穂揃期 7～10 日後**である。**本病防除適期を逃さず、殺菌剤を必ず散布することが重要である**。本病多発のおそれがある場合は、1 回目薬剤散布の 7～10 日後を目安に 2 回目の散布を行う。

六条大麦は、**開花始と開花 10 日後**に 2 回薬剤散布を行う。

小麦は、**開花始と開花 20 日後**に 2 回薬剤散布を行う。

六条大麦、小麦とも、本病多発のおそれがある場合は、3 回目の薬剤散布を行う。

### 麦種ごとの防除適期

麦種	防除適期	多発のおそれがある場合 (不稔粒発生や登熟期連続降雨など)
二条大麦	穂揃期 7～10 日後( <b>葯殻抽出期</b> )※1	1 回目の 7～10 日後に 2 回散布
六条大麦	<b>開花始</b> ※2 と開花 10 日後の 2 回散布	3 回目散布
小麦	<b>開花始</b> ※2 と開花 20 日後の 2 回散布	3 回目散布

※1 **葯殻抽出期**：穎の先端から葯殻(受粉を終えた葯の殻)が押し出されてくる時期

※2 **開花始**：抽出した葯を初めて認めた日

また、二条大麦の赤かび病の発生を助長する要因として、**不稔の発生**がある。不稔発生の気象条件として、

- ① 出穂前 8～10 日ごろの低温 (−1.0～−1.5℃の低温に 3～4 時間遭遇)
- ② 出穂期前後の降霜
- ③ 出穂期前後に 25℃以上の高温に遭遇

などがある。今後の気象状況をよく把握し、必要であれば追加防除を行う。

なお、薬剤感受性の低下を防ぐため、異なる RAC コードの薬剤をローテーション散布すること。農薬は使用前に必ずラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使用すること。

ご不明点は農業振興事務所 経営普及部又は農業総合研究センター 環境技術指導部までご連絡ください。

県 HP <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kensei/kennososhiki/g/index.html>

### 2) 排水対策

登熟期の湿害は粒の充実不足を引き起こし収量の低下を招くため、**排水溝や明きよの再確認**を行う。

## 表 1. 調査結果

### 農研センター本場(宇都宮市)における生育概況

品種名	年度	草丈	莖数	葉齢	葉色	正規化 植生指数	幼穂長	幼穂長	幼穂 分化程度
		cm	本/m <sup>2</sup>		SPAD	NDVI	mm	mm	
ニューサチホ ゴールデン (11/5 播種区)	本年	-	-	-	-	-	524.0	64.1	11.0
	平年	-	-	-	-	-	270.2	46.0	11.0
	平年比・差	-	-	-	-	-	194%	139%	0.0
	(参考)前年	-	-	-	-	-	170.9	41.1	11.0
ニューサチホ ゴールデン (11/14 播種区)	本年	71.0	1261.4	10.6	39.8	0.75	390.8	60.6	11.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年比・差	-	-	-	-	-	-	-	-
	(参考)前年	39.9	1740.3	9.6	36.2	0.72	112.4	29.5	11.0
シュンライ	本年	-	-	-	-	-	336.9	36.9	11.0
	平年	-	-	-	-	-	201.0	27.9	11.0
	平年比・差	-	-	-	-	-	168%	132%	0.0
	(参考)前年	-	-	-	-	-	94.5	14.3	11.0
さとのそら	本年	-	-	-	-	-	294.4	58.5	11.0
	平年	-	-	-	-	-	202.7	31.0	11.0
	平年比・差	-	-	-	-	-	145%	189%	0.0
	(参考)前年	-	-	-	-	-	91.8	11.6	11.0

注) NDVI: 植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの。

注) 小数点以下第 2 位を四捨五入しており、実際の差と一致しない場合がある。

・平年値: ニューサチホゴールデンは平成 26 年～令和 6 年度(令和 5 年度を除く 10 年間)の平均値。

・その内 NDVI は平成 29 年～令和 6 年(令和 5 年度を除く 7 年間)の平均値。

・シュンライとさとのそらは令和元年～令和 6 年度(令和 5 年度を除く 5 年間)の平均値。

※令和 5 年度産データは播種が例年より約 10 日遅れたため、平年値算出に含めていない。

#### 【耕種概要等】

供試品種: ニューサチホゴールデン、シュンライ、さとのそら

調査方法: ほ場調査(草丈、莖数、葉齢、葉色、NDVI)

抜取調査(幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期: 令和 7 年 11 月 5 日(前年 11 月 8 日・平年 11 月 5 日)、11 月 14 日(ニューサチホゴールデンのみ)

播種量等: 条間 22cm のドリル播、播種量 226 粒/m<sup>2</sup>設定(10a あたり約 9.5kg)

土壌分類: 表層多腐植質黒ボク土

施肥:

	施肥量(kg/10a)			備考
	N	P	K	
基肥	5.0	6.4	5.0	BB ビール麦エース 14-18-14 35.7kg/10a

※堆肥 1.0t/10a、重焼燐 2 号 280 kg/10a、塩化加里 20 kg/10a を施用

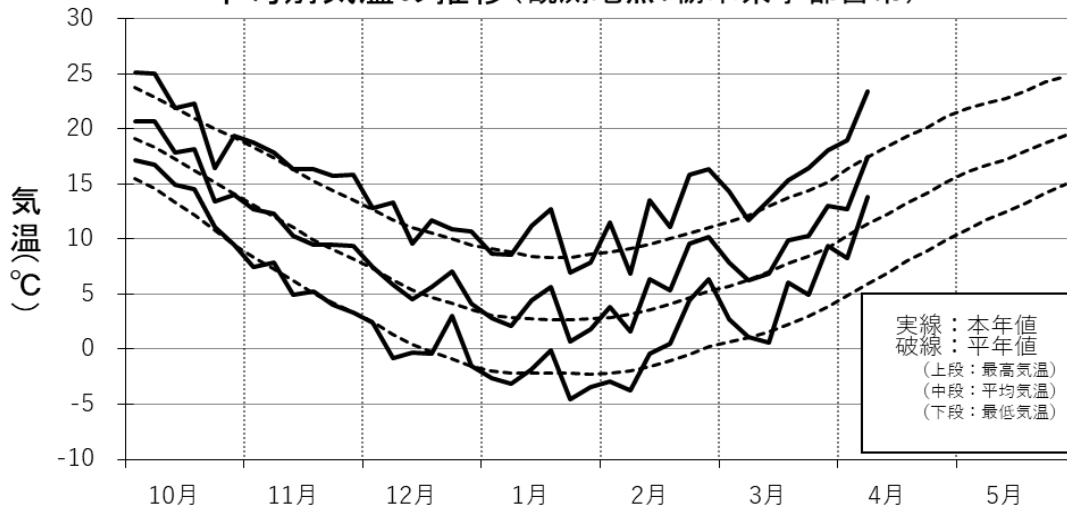
※4 月 6 日現在、追肥は行っていない

踏圧 11 月 5 日播種区: 1 2 月 2 日、12 月 19 日、1 月 13 日、2 月 13 日

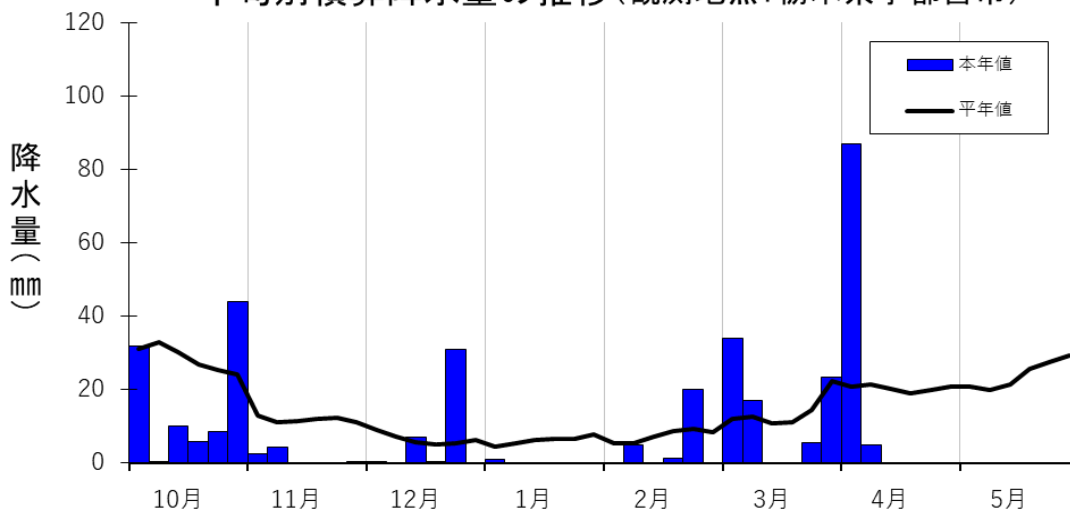
11 月 14 日播種区: 1 月 13 日、2 月 13 日

【気象概況】

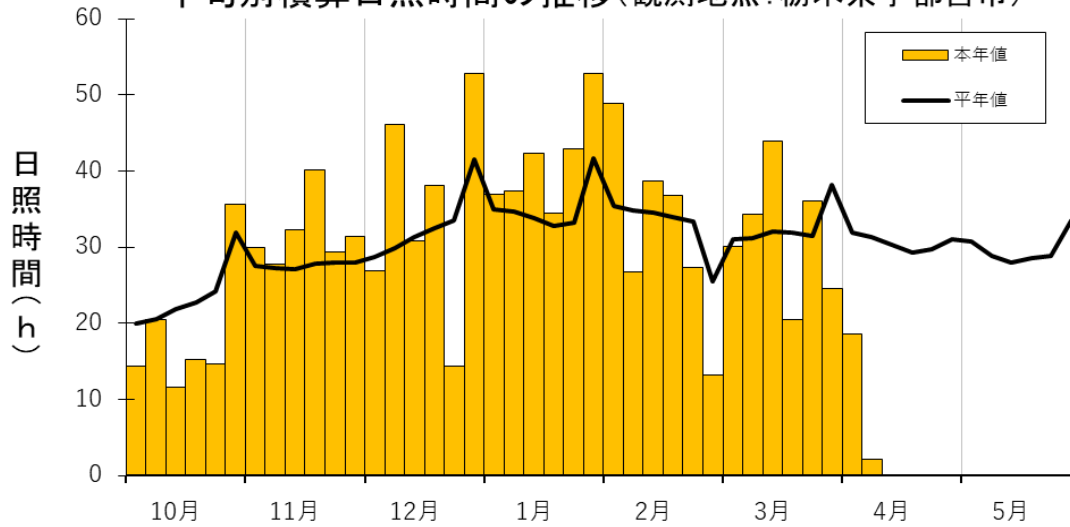
半旬別気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)





**写真1 ニューサチホゴールドの生育状況**  
農研センター本場 2025年11月5日播種 2026年4月6日撮影



**写真2 ニューサチホゴールドの生育状況**  
農研センター本場 2025年11月14日播種 2026年4月6日撮影